

2009年6月24日 東京弁護士会 アンケート

文章を読み理解するのが苦手です。ただ、同じ感覚を持っている先生と出会った時感動します。同じ感覚とは、とても単純で簡単な言葉で伝わる、シンプルな感動です。図解は今の全ての業務に生きそうです。

図解を試みることによって、組織人と組織の関係性を深く考えることとなった。

自分の仕事を図にしてみても、新たに気づく点がたくさんありました。

図解の技法はコミュニケーション能力とともに、思考力も鍛えられるように思います。

2時間の中で、おどろくほどの中身がつまっていたという感じです。

線で結べない箇所の関係性を考えることで、普段気づかないでいる新たな発見ができそうな気がする。

図がすっきりしないのは、自分が関係性、つながりを理解できていないということ。

文章を書く技術を理解しているのかと自問すると、そうではないというのを痛感した。学んだことを生かして、本当の理解と真のコミュニケーション力の向上を目指したい。

本を読んでもイメージが沸かなかつたことが手を動かすにつれ「こういうことかな？」と考えられるようになって自分にびっくりした。自分の仕事図は、まるで自分が一人で組織を動かしているような図になってしまったのは少々恥ずかしくなりました。

図を書いてみることで、普段使っていない頭を使って整理することができました。

図解コミュニケーションを学ぶことによって、よいことがたくさんあるという広報通りの勉強会になったと感じています。明日から箇条書き、早速やめます。

原則・目的に絞り細かいところは気にしないというのが非常におもしろかったです。とりあえず図を書き始めれば、頭を使って考えるという順序が勉強になりました。

弁護士会の仕事は、「単調」「閉鎖的」。。。挙げればキリがないですが、このような立場の者こそ、図解の発想が必要だと感じました。日頃からこういう脳みそを使っていきたいものです。

考えをまとめるのに、こういう方法もあるのだなと感心しました。他の人とフィードバックすることが重要で、自分の仕事をしていく上で参考になりました。